

対象	チェック項目	留意点	評価内容
(自社) テスト作業の開始前	1 前作業の成果物の確認	・ベンダテストの結果報告 (アプリケーション、システム連携、性能、障害) ・仕様書、コード体系、設計書、打合せ記録などの精査	
	2 システム処理での未解決事項の有無	・テスト結果による未解決、残作業の確認と今後の対応	
	3 システム処理での不安事項の有無	・システム処理(データ処理・データベース)での不安・不備 確認と今後の対応 ・処理仕様、業務処理に関する不安確認と今後の対応	
	4 作業スケジュールの状況確認	・マスタスケジュールから見ての遅延発生の理由確認 ・各成果物の品質を含めての確認 ・スケジュール遅れへの具体的対策	
	5 (自社参加)テスト作業と併行して行う「他作業」の確認	・自社、ベンダともに「他作業」の確認をして、テスト作業 への工数バランス・集中度合いの確認	
	6 プロジェクト活動の問題点有無の確認	・ベンダ、ベンダ/自社間、自社のプロジェクト活動をチェ ックして問題点解消の実施 ・テスト作業はプロジェクトの真価が問われ、プロジェクト 活動の総合力が必須。品質への影響大	
	7 プレ確認(標準化・取り決め事項)	・画面の操作・遷移・レイアウト、出力系、記述系	
	8 プレ確認(抜き取り検査の実施)	・マスタ、主要画面(入力・変更・照会)、主要帳票に関する チェックの実施	
テスト計画	1 テスト作業の開始前の問題有無	・上記「テスト作業の開始前」での問題対応をテスト計画 に必要があれば反映	
	2 テスト作業の目的、対象範囲の明確化	・テスト作業の全体と個別を踏まえた内容 (*1 参照)	
	3 テスト作業の構成とスケジュール	・テスト作業の全体スケジュールと個別スケジュール ・テスト作業の構成はテスト目的と内容による吟味 (*6 参照)	
	4 テスト環境と条件	・テスト参加者が理解できる環境と条件の提示 ・テスト作業での制限事項の提示(例:テスト不可の項目)	

対象	チェック項目		留意点	評価内容
テスト計画	5	テストケースの案内、指示	・テスト構成別のテストケース、範囲の特定 ・テスト参加者による独自テストの実施可否 (特別処理、例外処理、取引先個別、不安事項・・・)	
	6	テスト作業の体制と役割分担	・ベンダと自社の作業分担、責任範囲の明確化	
	7	問題管理	・テスト参加者からの問題提起への対応ルール ・即決、保留、却下などの評価基準の合意	
	8	進捗管理	・進捗情報の管理、ルートの合意 ・会議体の設定	
	9	改善・要望事項への対応	・改善・要望事項への対応ルールをベンダと自社で合意 ・有償・無償対応の基準化、判断時期	
	10	参加者への説明	・テスト作業に関する参加者への説明会の実施 (上記内容の説明と納得)	
(テストフェーズ) テスト終了	1	テスト実施の中間・最終総括レビュー	・全体、個別テストに応じて、ベンダと自社でテスト結果 のレビュー実施 ・反省、問題点の確認 (*5 参照)	
	2	次作業への持ち越し・留意事項の確認	・個別テストの場合は、総括レビューにて持ち越し・留意 事項・不安事項の確認と対応決定	
	3	今後のスケジュールの確認	・テスト結果によるスケジュール変更の有無 ・変更の場合、スケジュール信憑性のチェック	
	4	テスト計画の達成度	・システム利用者の意見収集と判断	

* 1 (自社参加)テスト作業はつぎのことを念頭におくことを薦めます。

利用者(担当者、管理者)のテスト参加を重視します。システムの中身が多様化・複雑化してきています。

作業、業務プロセス、管理内容からの独自テストとその関連テストが重要です。作業・業務プロセスでの変更・訂正テストが特に。

取引先・顧客に対する個別の取引対応のシステム処理仕様が要注意です。

経営管理、マネジメントからの要求に対するテストが最終形になります。最終数字が全てそこにいきます。

* 2 テスト開始前の作業状況と作業結果を把握して、テスト計画の実現性・具体性を見極めることです。ここに疑問なり問題がありますと、テスト品質と進捗に多大な影響を与えます。ベンダ報告と作業結果はドキュメントを基に行い評価します。

対象	チェック項目	留意点	評価内容
----	--------	-----	------

- * 3 テスト計画は自社の参加メンバーの時間確保・経験を考慮し、計画達成の条件を整えベンダと決めます。
- * 4 テスト計画の実施において、ベンダの問題点は早めに提起して問題解決を図ることで。小さな手遅れなり判断ミスが大きな事故を招くことがあるのが、このテスト計画 / 実施の作業フェーズです。
- * 5 テスト計画の作業はいくつかの構成に分けることを薦めます。その構成の作業が終了した時点で、中間総括を行うことをです。その総括により、改善点・問題解決策を明らかにして次構成のテスト作業を行うことが生産性と品質を向上させます。
- * 6 テスト構成の例(「単純から複雑へ」が標準)
 - サブシステム サブシステム間 全体システム
 - 単一業務 業務間(組織・取引先) 業務 / 管理内容
 - 基本操作 自分の業務担当 他業務との関連 業務 / 管理内容
 - 通常処理 特別・例外処理 業務処理 他業務との関連 業務 / 管理内容
 - 業務入力処理 業務変更・訂正処理 業務 / 管理内容
 - ~ の組合せ